



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月15日

上場会社名 サムティ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3244 URL http://www.samty.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)江口 和志  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)小川 靖展 (TEL)06-6838-3616  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	21,487	173.3	2,428	79.0	1,188	485.3	704	84.9
24年11月期第3四半期	7,863	△25.5	1,356	△37.8	203	△79.8	381	△34.8

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 713百万円(85.1%) 24年11月期第3四半期 385百万円(35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	4,008 73	3,037 78
24年11月期第3四半期	2,283 52	2,124 56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	75,444	21,452	28.3
24年11月期	74,259	18,891	25.3

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 21,333百万円 24年11月期 18,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	00 00	—	1,200 00	1,200 00
25年11月期	—	00 00	—		
25年11月期(予想)				1,700 00	1,700 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成25年10月15日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	148.4	3,000	72.7	2,100	—	1,650	45.5	8,828 49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年10月15日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 除外 1社 (一般社団法人プロジェクト・エイチ)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期3Q	186,895株	24年11月期	169,319株
25年11月期3Q	一株	24年11月期	一株
25年11月期3Q	175,845株	24年11月期3Q	166,984株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	—	—	0 00	0 00
25年11月期	—	0 00	—		
25年11月期（予想）				0 00	0 00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年末に発足した新政権の経済政策と金融緩和策が好感され円安・株高へと転じたほか、輸出環境の持ち直し等により、景気回復への期待感が高まっております。しかしながら、円安へ転じた影響による原材料価格の高騰や、消費税増税や雇用状況等の不安から、全体として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する不動産業界におきましては、景況感の好転からオフィスや住宅に対する需要が増しており、新政権によるデフレ脱却策の下、三大都市圏の地価が5年ぶりに上昇するなど回復の兆しが見えてきております。

このような事業環境下におきまして、当社グループは、不動産事業における利益率を重視した事業展開及び賃貸資産の積上げによる収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,487万円（前年同四半期比173.3%増）、営業利益2,428百万円（前年同四半期比79.0%増）、経常利益1,188百万円（前年同四半期比485.3%増）、四半期純利益704百万円（前年同四半期比84.9%増）となりました。

（セグメント別の状況）

## ①不動産事業

不動産事業は、自社ブランド「S-RESIDENCE」シリーズ等の企画開発・販売及び収益不動産等の再生・販売を行っております。また投資用マンションの企画開発・販売及びファミリー向け分譲マンション等の企画開発を行っております。

「S-RESIDENCE」シリーズとして「S-RESIDENCE北浜（大阪府中央区）」及び「S-RESIDENCE難波WEST（大阪府浪速区）」を売却し、その他収益マンションとして「パラッツォ（東京都墨田区）」、「第2洛西ハイツ（京都市南区）」、「第3洛西ハイツ（京都市南区）」、「パークテラス住吉（福岡市博多区）」、商業施設として「アンビエントガーデン和泉中央（大阪府和泉市）」等を売却いたしました。

また、投資用マンションとして「サムティ天満Dio（大阪府北区）」、「スワンズシティ江戸堀（大阪府西区）」、「エスライズ東心斎橋（大阪府中央区）」、「エスライズ東本町（大阪府中央区）」等において291戸を販売いたしました。

この結果、当該事業の売上高は17,211百万円（前年同四半期比291.5%増）、営業利益は1,689百万円（前年同四半期比164.0%増）となりました。

## ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション、オフィスビル、商業施設、ホテル等の賃貸及び管理を行っております。

賃料収入の増加を図るべく、営業エリアの拡大並びに収益不動産の仕入の強化に努め、「アビタコアⅠ・Ⅱ・Ⅲ（兵庫県伊丹市）」、「心斎橋サムティビル（大阪府中央区）」、「Do鶴見（大阪府鶴見区）」、「サムティ福岡県庁前（福岡府博多区）」、「ヨーロピア甲東（鹿児島県鹿児島市）」、「ホテルウィングインターナショナル名古屋（名古屋市中区）」の取得に加え、「サムティ北浜EST（大阪府中央区）」を竣工いたしました。

この結果、当該事業の売上高は3,811百万円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益は1,713百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

## ③その他の事業

その他の事業は、「センターホテル東京（東京都中央区）」及び「センターホテル大阪（大阪府中央区）」の2棟のビジネスホテルの保有・運営に加え、分譲マンション管理事業及び建設・リフォーム業を行っております。

当該事業の売上高は463百万円（前年同四半期比90.6%増）、営業利益73百万円（前年同四半期比103.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産

## (資産)

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、1,184百万円増加し、75,444百万円となっております。このうち流動資産は3,868百万円減少し、25,710百万円となっており、固定資産は5,058百万円増加し、49,729百万円となっております。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金2,563百万円の増加及び販売用不動産6,619百万円の減少であります。固定資産の主な増加要因は、有形固定資産4,114百万円の増加及び投資その他の資産1,013百万円の増加であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間の負債合計は前連結会計年度末と比べ、1,376百万円減少し、53,991百万円となっております。このうち流動負債は3,292百万円減少し、16,530百万円となっており、固定負債は1,915百万円増加し、37,461百万円となっております。流動負債の主な減少要因は1年内返済予定の長期借入金4,867百万円の減少、支払手形598百万円の増加、短期借入金862百万円の増加であります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金2,107百万円の増加であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、新株発行による資本金1,004百万円及び資本準備金1,004百万円の増加、四半期純利益の計上による利益剰余金704百万円の増加並びに配当金の支払による利益剰余金203百万円の減少等により、前連結会計年度末と比べ2,560百万円増加し、21,452百万円となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により8,501百万円増加、投資活動により5,736百万円減少、財務活動により250百万円減少した結果、前連結会計年度末と比べ、2,513百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末には7,158百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は、8,501百万円（前第3四半期連結累計期間は940百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,355百万円、たな卸資産の減少6,403百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、5,736百万円（前第3四半期連結累計期間は3,053百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,463百万円、有形固定資産の売却による収入2,871百万円、投資有価証券の取得による支出1,122百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、250百万円（前第3四半期連結累計期間は3,839百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入による収入4,982百万円、短期借入金の返済による支出3,990百万円、長期借入による収入19,082百万円、長期借入金の返済による支出21,971百万円、株式の発行による収入1,995百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成25年1月15日付「平成24年11月期決算短信（連結）」にて公表いたしました平成25年11月期（平成24年12月1日～平成25年11月30日）通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年10月15日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、一般社団法人プロジェクト・エイチは清算終了により、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,425	7,989
売掛金	157	199
販売用不動産	15,491	8,871
仕掛販売用不動産	7,749	7,962
商品	0	2
貯蔵品	0	1
繰延税金資産	419	190
その他	340	496
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	29,579	25,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,913	19,605
信託建物(純額)	1,853	1,825
土地	22,748	24,427
信託土地	1,059	1,059
その他(純額)	299	71
有形固定資産合計	42,874	46,988
無形固定資産		
のれん	166	112
その他	101	86
無形固定資産合計	268	198
投資その他の資産		
投資有価証券	196	1,322
長期貸付金	68	—
繰延税金資産	398	309
その他	878	919
貸倒引当金	△13	△8
投資その他の資産合計	1,528	2,542
固定資産合計	44,670	49,729
繰延資産		
創立費	0	0
開業費	9	3
繰延資産合計	9	3
資産合計	74,259	75,444

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	708	1,198
短期借入金	2,208	3,070
1年内返済予定の長期借入金	15,912	11,045
未払法人税等	—	327
その他	994	889
流動負債合計	19,823	16,530
固定負債		
長期借入金	32,384	34,491
繰延税金負債	447	445
退職給付引当金	65	71
長期預り敷金保証金	1,545	1,399
建設協力金	821	781
匿名組合出資預り金	260	260
その他	21	10
固定負債合計	35,545	37,461
負債合計	55,368	53,991
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,872	6,877
資本剰余金	5,773	6,777
利益剰余金	7,156	7,658
株主資本合計	18,803	21,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	20
繰延ヘッジ損益	△5	—
その他の包括利益累計額合計	11	20
新株予約権	76	118
純資産合計	18,891	21,452
負債純資産合計	74,259	75,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	7,863	21,487
売上原価	4,949	17,196
売上総利益	2,914	4,290
販売費及び一般管理費	1,557	1,861
営業利益	1,356	2,428
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	4	25
金利スワップ評価益	0	3
その他	3	33
営業外収益合計	13	68
営業外費用		
支払利息	1,083	1,149
支払手数料	32	129
その他	51	29
営業外費用合計	1,167	1,308
経常利益	203	1,188
特別利益		
固定資産売却益	662	387
その他	—	0
特別利益合計	662	387
特別損失		
固定資産売却損	—	168
減損損失	—	46
ゴルフ会員権評価損	17	—
投資有価証券評価損	50	—
その他	18	5
特別損失合計	86	220
税金等調整前四半期純利益	778	1,355
法人税、住民税及び事業税	271	337
法人税等調整額	128	313
法人税等合計	399	650
少数株主損益調整前四半期純利益	379	704
少数株主損失(△)	△1	—
四半期純利益	381	704

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	379	704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	3
繰延ヘッジ損益	2	5
その他の包括利益合計	6	8
四半期包括利益	385	713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387	713
少数株主に係る四半期包括利益	△1	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	778	1,355
減価償却費	605	590
のれん償却額	6	7
減損損失	—	46
受取利息及び受取配当金	△10	△31
支払利息	1,083	1,149
為替差損益 (△は益)	△0	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△662	△218
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△20	△44
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,752	6,403
仕入債務の増減額 (△は減少)	121	489
前渡金の増減額 (△は増加)	214	△116
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△110	△146
その他	251	71
小計	515	9,564
利息及び配当金の受取額	10	29
利息の支払額	△1,089	△1,090
法人税等の支払額	△377	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△940	8,501
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	20
定期預金の預入による支出	△175	△70
有形固定資産の売却による収入	2,805	2,871
有形固定資産の取得による支出	△5,457	△7,463
無形固定資産の取得による支出	△61	△13
投資有価証券の取得による支出	△0	△1,122
出資金の清算による収入	0	—
出資金の払込による支出	△160	△5
長期貸付金の回収による収入	34	87
建設協力金の支払による支出	△39	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,053	△5,736

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,160	4,982
短期借入金の返済による支出	△882	△3,990
長期借入れによる収入	8,216	19,082
長期借入金の返済による支出	△6,361	△21,971
株式の発行による収入	1,970	1,995
配当金の支払額	△194	△202
その他	△69	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,839	△250
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155	2,513
現金及び現金同等物の期首残高	3,954	4,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,799	7,158

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,396	3,223	243	7,863	—	7,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	38	38	△38	—
計	4,396	3,223	281	7,901	△38	7,863
セグメント利益	639	1,556	35	2,232	△875	1,356

(注) 1. セグメント利益の調整額△875百万円は、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△831百万円が主であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,211	3,811	463	21,487	—	21,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	137	137	△137	—
計	17,211	3,811	601	21,624	△137	21,487
セグメント利益	1,689	1,713	73	3,476	△1,047	2,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,047百万円は、セグメント間取引消去△137百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△909百万円が主であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失46百万円を計上しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月28日 定時株主総会	普通株式	195	1,200	平成23年11月30日	平成24年2月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月27日 定時株主総会	普通株式	203	1,200	平成24年11月30日	平成25年2月28日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年5月21日付で公募による新株式発行について払込みを受け、また、平成25年5月29日付でオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当増資について払込みを受けました。この結果、第3四半期連結会計期間において資本金が1,004百万円、資本準備金が1,004百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,877百万円、資本準備金が6,777百万円となっております。

(7) 重要な後発事象

当社は、本日(平成25年10月15日)開催の取締役会において、合同会社アンビエントガーデン守山を営業者とする匿名組合への出資を増額することを決議いたしました。これにより、当社は合同会社アンビエントガーデン守山を当社の持分法適用関連会社とする予定であります。

(1) 対象会社の概要

名称 合同会社アンビエントガーデン守山

事業内容 商業施設「ピエリ守山」(滋賀県守山市)の不動産を信託財産とする信託受益権の取得、保有、処分及び管理

資本金 10万円

(2) 出資の時期

平成25年10月末(予定)